

平成30年4月24日

野々市市議会議長 早川 彰一 様

(報告者)

会派名〔又は〕 公明
代表者〔議員名〕 大東 和美



政務活動報告書

下記のとおり政務活動(調査研究、研修、要望・陳情)を実施したので、報告します。

期 間	平成30年4月16日から平成30年4月17日まで
視察、研修、要望・ 陳情の場所	明石市役所及び明石駅周辺
参加者氏名	大東 和美
目 的 (調査・視察事項)	野々市市に新たに手話言語条例を策定するため、先進地である明石市の手話言語条例策定までの過程などを視察する。
調査・視察概要	<p>○手話言語を確立するとともに、要約筆記・点字・音訳など障がい者のコミュニケーション手段の利用を促進する条例について</p> <p>○明石市障がい者に対する配慮を促進し誰もが安心して暮らせる共生のまちづくり条例について</p> <p>○手話フォンやタブレット端末を利用した障がい者支援について (現地視察)</p> <p>16日(月)明石市役所にて 泉市長から10分ほど、明石市の「やさしいまちづくり」を目指し、条例に広がった経緯など総論的に説明を受けた。特に段差解消の取り組み、筆談ボード設置に公的補助を出して、街の風景を変えていく取り組みが、手話フォン設置などに拡大していることをご説明いただく。その後、担当課長から説明を受け、各委員との質疑が繰り返された。終了後、手話フォンの現地視察。実演もしていただく。</p> <p>17日(火) 二日目は、障がい者連絡協議会が昨年でき、各障がい者団体の代表が出席してくださり、野々市市の条例がよくなるようにと、ご意見をいただいた。気づきが多く、責任を再確認した。</p>
備 考	

※記入欄が不足する場合は、欄を広げる等適宜調整してください。